

市長メッセージ<福岡県の営業時間短縮等の要請解除を受けて>

緊急事態宣言解除以降も継続していました県民の皆さまへの外出自粛や県内の事業者の皆さまへの営業時間短縮等の協力要請が、3月21日をもって解除されました。

緊急事態宣言発令以降、2ヶ月以上の長きにわたりご協力いただきました市民の皆さま、事業者の皆さまに、心から感謝申し上げます。

久留米市内では、緊急事態宣言発令中の1月は新規感染者数が252名と、感染が急速に拡大している状況でしたが、2月は23名と大きく減少しています。これは、ひとえに市民の皆さまや事業者の皆さまのご協力の賜物であり、改めてお礼申し上げます。

また、この間、膨大な健康相談、PCR検査の実施、感染者の治療など、献身的に支えていただきました医療従事者をはじめとする関係者の皆さまにも、深くお礼を申し上げます。

福岡県の営業時間短縮等の協力要請は解除されますが、まだ感染症の状況は予断を許しません。依然として、カラオケ喫茶や高齢者施設などでのクラスターが発生していますし、家庭内での感染も広く確認されています。また、一時は減少していた感染者数も再度増加しつつある兆しもありますし、県内でも複数の変異株が確認されています。

これからの時期、歓送迎会や謝恩会、または卒業旅行など楽しみな行事が予定されている方々も多くいらっしゃると思いますが、感染拡大防止のためにできるだけ控えていただくことをお願い申し上げます。また、花見に伴う宴会につきましても、是非とも自粛をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症が国内で拡大して、はや1年が過ぎます。この間、社会生活、経済活動などに多くの制約が求められましたが、市民の皆さまには多大なるご協力をいただき感謝いたします。特に事業者の皆さまには、営業時間短縮等の厳しい要請にもご理解とご協力いただき、心よりお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策の切り札であるワクチン接種が始まるなどの希望がもてる話題もありますが、これからも市民の皆さま、事業者の皆さまと力を合わせて、社会全体で感染症のリバウンド防止を図っていくため、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

令和3年3月23日

久留米市長 大久保 勉